

株式会社エヌで外国人材を活用した事例紹介

大村・東彼杵地域普及課

(株) エコグリーンヒガシさんでは、(株) エヌを通じて外国人材を活用されています。大村東彼地域では初めての活用であり、令和5年1月から3ヶ月の期間派遣予定でしたが、現在5年間の通年派遣へ変更を検討しています。

きっかけは、コロナ禍でおうち時間が増え、観葉植物の需要が高まり、生産拡大を行うため、安定した労働力を確保する必要がありました。様々な検討を重ねる中で、(株) エヌで外国人材を活用することになりました。

派遣までに苦労したことは、住居の確保です。自転車通勤できる範囲内で、外国人材と会社の負担を少なくすること、周囲の理解が得られることなどを考慮して、知り合いから一軒家を借りることができたそうです。

今回、派遣されてきたバンナックくんは、35歳でカンボジアから出稼ぎに来てくれた「特定技能」資格保持者です。久々の来日で、少し日本語が出にくくなっていましたが、日々の作業の中で、東さん家族や従業員のふれあいにより、着々と日本語も作業もきちんとできるようになってきています。

きれい好きで、料理好き（カンボジアで調理免許取得）で、カンボジアの家族とはTV電話で毎日通話しているそうです。東さんも、ホームステイしている外国の友人のように接しているそうで、力があってよく働いてくれるので助かっているとのことでした。

労力の確保は、各経営体で抱えている大きな課題です。様々な手法がありますので、今一度労力について考えてみてはいかがでしょうか？



もりもり働くバンナックくん



東さんとのツーショット

R4アグリネットフォーラムで、県央地区連上位独占!!

全 域

R5年2月16～17日に県庁で開催された、「61th ナガサキ・アグリネットフォーラム」において、県央地区連代表として4名が、プロジェクト発表部門、意見発表部門の両部門ともに、最優秀賞と優秀賞1席をダブル受賞しました。受賞者は下記のとおりです。

プロジェクト発表の2名と意見発表の最優秀賞受賞者の3人が、県代表として、7月に大分県で開催される九州大会に臨みます。

九州チャンピオンを目指して頑張ってください。



前列左から森山さん、小川さん、田川さん、尾上さん

部 門	所属・グループ名	課 題 名	受賞者名	受賞名
発表の部 プロジェクト	大村市青年農業者会	地域特産品と農福連携PRプロジェクト	小川 未来さん	最優秀賞
	いさはや4H諫早支部	上手な耕畜連携を目指して～地域農家の救世主に～	森山 泰志さん	優秀賞1席
意見発表の部	大村市青年農業者会	大好きなみかん農業で生きていく	田川 大志さん	最優秀賞
	東彼杵町青年農業者連絡協議会	経営者としての目標	尾上 大輔さん	優秀賞1席